

第16回 ピアノ教員によるコンサート

2024. 9.21 SAT 17:00開演(16:15開場) 全席指定 2,000円

TCMホール [東京音楽大学 中目黒・代官山キャンパス]



片田 愛理

K. シマノフスキ / 9つの前奏曲 作品1より 第2番 二短調
M. ラヴェル / ソナチネ

石井 理恵

P.I. チャイコフスキー / ドゥムカ ~ロシアの農村風景~ ハ短調 作品59
P.I. チャイコフスキー (M. プレトニョフ編) / 演奏会用組曲「くるみ割り人形」より
アンダンテ・マエストーゾ

浦壁 信二

O. メシアン / 「幼子イエスに注ぐ20の眼差し」より
第5曲 御子に注ぐ御子の眼差し、第10曲 喜びの聖霊の眼差し

石岡 千弘

S. ラフマニノフ / 幻想的小品集 作品3より 第1曲「エレジー」変ホ短調
F. ショパン / 舟歌 嬰ハ長調 作品60

高田 匡隆

C. フランク / 前奏曲、フーガと変奏曲 口短調 作品18
M.de ファリャ / 「恋は魔術師」より 火祭りの踊り

©井村 重人

稲田 潤子

M. ラヴェル / メヌエット 嬰ハ短調 M.42
D.de セヴラック / 水の精と不謹慎な牧神
E. シャブリエ / プール・ファンタスク

©井村 重人

2024.7.26 金 10:00より一般予約受付開始

東京音楽大学チケットサイト <https://www.s2.e-get.jp/TCM/pt/>

※発券の際、1枚ごとに事務手数料385円(消費税含む)がチケット代金とは別途かかりますので、ご了承ください。
 ※在学生は、本学より付与されている会員アカウントをご利用ください。
 ※やむを得ぬ理由により、予告なく、出演者、曲目等変更の可能性がありますので、ご了承ください。
 ※乳幼児のご入場はご遠慮ください。また、車椅子をご利用の方は演奏課までお問い合わせください。

東京音楽大学演奏会情報チャンネル

当公演は、後日、東京音楽大学 演奏会情報チャンネルにて動画配信の予定です。



[お問い合わせ] 演奏会お問い合わせ窓口
 TEL 03-6379-3788 (10:00 ~ 17:00 平日のみ)



片田 愛理 Airi Katada

東京音楽大学ピアノ演奏家コース・エクセレンスを特別特待奨学生として首席で卒業し、ウィーン国立音楽大学大学院を最優秀で修了。第6回スクリービン国際ピアノコンクール第1位。NHK-FM「名曲リサイタル」に出演。第5回仙台国際音楽コンクール第5位入賞。第71回ヴィオッティ国際コンクール最高位。現在は東京音楽大学で非常勤講師を務めると同時に、同大学大学院博士後期課程に在籍。

石岡 千弘 Chihiro Ishioka



東京藝術大学を首席で卒業、併せて安宅賞、アカンサス音楽賞受賞。文化庁芸術家在外派遣研修員としてジュリアード音楽院に学び、修士号を取得。帰国後、藝大大学院を修了。2017年には東京音楽大学大学院博士後期課程を、優秀賞を得て修了。セルゲイ・ポルトキエヴィチの演奏と論文により博士号(DMA)を取得。現在、東京音楽大学専任講師。第66回日本音楽コンクール第2位(1位なし)、併せて井口賞、河合賞受賞の他、第1回シヨパン国際ピアノコンクール in ASIA、第46回マリア・カナルス国際コンクール、第55回ヴィオッティ国際音楽コンクール等にて受賞。これまで東京交響楽団、サンレモ交響楽団、東京ユニバーサル・フィルハーモニー管弦楽団、など多数のオーケストラと共演。



石井 理恵 Rie Ishii

山形県出身。東京音楽大学を経て同大学大学院修了。モーツァルトウム音楽院夏期アカデミーに参加、選拔されアカデミーコンサートに出演。国際ピアノ音楽祭(NY)に参加、ドロシー・マッケンジーコンペティション第3位。第75回日本音楽コンクール入選、及び岩谷賞(聴衆賞)他数多くのコンクールで入賞を果たす。これまでに山形交響楽団、仙台フィルハーモニー管弦楽団、東京交響楽団と共演。2012年、2013年カプースチン作曲のピアノ協奏曲を日本初演し好評を博す。クラシックから歌謡曲、アンサンブルと幅広いレパートリーを持ち、復興支援の演奏活動にも精力的に取り組んでいる。現在、東京音楽大学准教授として後進の指導にも力を注いでいる。

高田 匡隆 Masataka Takada



桐朋学園大学卒業後、マンネス音楽院、ハンガリー国立リスト音楽院で研鑽を積み、イタリア国立サンタ・チェチリア音楽院を首席で卒業。「イタリア共和国大統領賞・シノーポリ賞」を日本人初受賞。第68回日本音楽コンクール第1位。第2回仙台国際音楽コンクール第2位。マリア・カラス・グランプリ優勝。モンテリオール国際音楽コンクール第2位。「ワーグナー音楽祭」、「クラクフ国際ピアノフェスティバル」などの音楽祭に招聘され、国内外のオーケストラとも共演。演奏活動のみならず、全日本学生音楽コンクール、日本音楽コンクールの審査など多岐に渡った活動を展開している。東京音楽大学准教授、公益財団法人日本ピアノ教育連盟・理事。

©井村 重人



浦壁 信二 Shinji Urakabe

都立芸術高校音楽科を経て1987年パリ国立高等音楽院に留学。和声・フーガ・伴奏科で1等賞、対位法で2等賞を得る。1994年オルレアン20世紀音楽ピアノコンクールで特別賞ブランシュ・セルヴァを得て優勝。室内楽・伴奏において国内外の多くのアーティストとの共演を果たす一方、CD「水の戯れ〜ラヴェルピアノ作品全集1」「クーランの墓〜ラヴェルピアノ作品全集2」ではレコード芸術誌の特選、準特選を得るなど好評を得た。現在、洗足学園音楽大学客員教授、東京音楽大学特任教授、ヤマハマスタークラス講師。

稲田 潤子 Junko Inada

東京音楽大学付属高等学校ピアノ演奏家コースを最優秀賞、首席で卒業後渡仏。パリ国立高等音楽院ピアノ科、室内楽科ともに1等賞で卒業。パリ・エコール・ノルマル音楽院にて演奏家資格を取得するなど研鑽を積む。全日本学生音楽コンクール、日本音楽コンクール、ソフィア国際ピアノコンクールなど国内外の数々のコンクールに優勝、入賞する。1997年モスクワで行われたラフマニノフ国際音楽コンクールピアノ部門で第3位(2位なし)を受賞。日本とフランスを中心とした各国で演奏活動を行い、リサイタル、室内楽の他、テレビ、ラジオにも多数出演。モスクワ交響楽団、ソフィア放送管弦楽団、日本フィルハーモニー交響楽団など国内外の多くのオーケストラと共演。また、ファーストアルバム「TABLEAUX」、ヨーロッパCDデビューアルバム「Sergei Rachmaninov」をリリースしている。東京音楽大学教授。



©井村 重人

《会場案内》

東京音楽大学 <https://www.tokyo-ondai.ac.jp/>
 中目黒・代官山キャンパス
 TCMホール(ホール入口は3階 代官山駅側)
 東急東横線「中目黒駅」「代官山駅」より徒歩4分
 ※会場へは公共交通機関をご利用ください。

【東京音楽大学主催演奏会 運営について】

東京音楽大学主催演奏会では、感染対策を講じて、お客様に安心して公演をご鑑賞いただけるよう努めております。右記QRコードで東京音楽大学HPの「東京音楽大学主催演奏会の運営について」を必ずご確認くださいの上、ご来場ください。なお、体調不良が見受けられる場合は、入場をお断りする場合がございます。予め、ご了承ください。



演奏会での標準的なSDGsの取組

東京音楽大学は「東京音楽大学環境方針」を踏まえ、「音楽と社会をつなげる」をミッションに、学生・教職員が一体となって、地域社会・事業者等との連携により、SDGsに積極的に取り組み、持続可能な社会の実現に貢献することとしました。各々の演奏会では、学生・教職員は、標準としてSDGsが掲げる17の目標のうち、次の6つを意識し、音楽が持つ特性を十分に発揮し、素晴らしい感動と未来への夢などを提供することを目指すこととします。



3. すべての人に健康と福祉を
 演奏会は、心に安らぎや、活力を与えてくれます。



4. 質の高い教育をみんなに
 演奏会は、生涯学習の一端を担います。



10. 人や国の不平等をなくそう
 演奏曲は、その曲の作者やその時代背景などからその国や人を理解するきっかけをつくり、不平等をなくす営みを促します。



11. 住み続けられるまちづくり
 演奏会は、鑑賞していただく周辺地域の方々と共に創り上げて行くものです。本学では、この姿勢をまちづくりに展開することを目指し、エリアマネジメントの取組を進めております。



16. 平和と公正をすべての人に
 演奏会は、分け隔てなく参加することができます。この精神をみなさんにお伝えし、平和と公正を促して行くことが責務と考えています。



17. パートナーシップで目標を達成しよう
 演奏会には、大勢の人との協力が不可欠です。この姿勢は様々な目標を成就させるための重要な要素です。本学は、演奏会参加者が、この姿勢をより深め、持続可能な社会の実現に貢献できる人材育成に寄与します。